



宮前中だより

さいたま市立宮前中学校
学校通信 No. 3
平成30年 6月 1日 (金)

さいたま市西区宮前町1467-1 Tel 623-7381 e-mail: miyamae-j@saitama-city.ed.jp

『充実感』

校長 大木 克己

絶好の体育祭日和となった5月19日(土)、宮前中学校創立40周年を記念するにふさわしい体育祭を無事行うことができました。当日、朝早くからたくさんの地域ご来賓、保護者のみなさまにご来校いただき、ありがとうございました。『前人未踏 前中の歴史に名を残せ』～No.1の感動作～というスローガンを掲げ、白熱した競技が随所に展開されました。体育祭実行委員長である中島さんの力強い選手宣誓のとおり、全ての種目において全力で競技に取り組む生徒の姿に、校長として頼もしさを感じました。また、競技ばかりでなく仲間を応援する姿や各係の仕事を着実にやる生徒の姿にも大変感動しました。とくに、宮前中の素晴らしさが見られた場面は、担任と生徒が一体となって頑張った「全員リレー」、『お助けマン』の暖かさを感じた「借り物競争」、『かわいいムカデ(1年生)』から『迫力あるムカデ(3年生)』へと学年としての成長を感じた「ムカデ競争」などだったのでしょうか。そして今年初めて全校生徒でお披露目した「宮前体操」は、全校生徒が笑顔で、しかも大きな掛け声をかけながら体操する姿にたくさんの参観者から賞賛の言葉をいただきました。さらに感動的であったのが、体育祭実行委員長の最後のあいさつでした。彼女の言葉には心の底から「宮前中体育祭を全校生徒でやり遂げた!」という充実感が伝わってきました。心の底からの言葉に聞こえました。このように、今年の体育祭は全体をとおして、生徒の活躍する姿がたくさん見られ、その中でも3年生がリーダーとして頑張る姿をうれしく思いました。1、2年生には3年生が残したよき伝統をぜひ引き継ぎ、41年目に繋げてほしいと願います。

さて、体育祭の終了も束の間、3年生は5月28日(月)～30日(水)の2泊3日で、京都・奈良に修学旅行に行ってきました。初めて京都・奈良を訪ねたという生徒が多く、奈良では大仏の大きさに驚いたり、京都では清水寺、金閣寺など寺社仏閣の美しさに感動したりと十分に古都を堪能してきました。また、宿舎では「狂言」を鑑賞したり、展望風呂で疲れを癒したり、クラス別行動では、和菓子づくりや茶道などの体験学習をしたりと、日本の歴史・文化に触れることができました。3日間をとおして、実行委員を中心に各自がスケジュールをよく理解し、大変スムーズな行動ができたことが最大の成果だと思います。3年生はそんな充実感をもって大宮に帰ってきたはずです。

そして、6月2日(土)からはいよいよ学校総合体育大会が始まります。3年生にとっては最後の公式戦です。日頃の成果を十分に発揮し、悔いの残らない試合をしてほしいと心から願っています。対戦相手は自分の心であり、競うべきは、共に試合(競技)を行い、成長しあう「仲間」です。また、対戦相手だけでなく、審判、大会役員、応援に来てくださった方々に敬意を払って大会を十分に楽しんでください。宮前中の活躍を期待しています。

最後になりますが、5月初旬に新潟で下校途中の小学生が悲惨な事件に遭いました。未来ある子どもが、身勝手な犯人に命を奪われるという絶対に許されない出来事でした。さいたま市内でも残念ながら不審者情報があります。登下校時、周囲に十分に注意してください。万が一事件に遭ってしまった場合は、すぐに110番をしてください。また、地域のみなさまには引き続き、生徒の登下校時の見守り協力をお願いいたします。